



令和3年7月15日
第847号

一般財団法人日本遺族会
〒102-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
電報掛 00160-6-25389
編集発行人 盛川英治
編集発行部 1回15日発行
定価 毎月1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

評議員会 書面決議で承認 任期満了で理事・評議員等の改選

本会は、第14回評議員会を開催する予定であったが、首都圏の新型コロナウイルス感染症拡大の兆候が見られることから、会議出席を控える評議員が増え、会議の成立定数に満たなくなる状況が想定されたので、急遽、評議員が一堂に会しての会議は行わず、書面による同意決議が諮られた。

議案は4年間の任期満了に伴う新たな評議員、算書類等の決議事項が何れも書面での同意を得られ、承認された。

新評議員、監事、理事に選任された方々は次の通り。(敬称略)
評議員【北海道】谷 恩、森本浩吉【埼玉】

福居一夫【静岡】杉山 英夫【栃木】木村好文【長野】栗生勝由【富山】田原政信【福井】和田昭十四【岐阜】小 林浩【滋賀】角野彰夫【和歌山】杉本正博【天 阪府】野間征子【鳥取】井上宏【岡山】三宅禎 浩【山口】岩村誠【徳 島】坂千代克彦【高知 県】藤戸博孝【佐賀】山 口貢【長崎】長池要 七【宮崎】関谷忠【沖 縄】宮城篤正
監 事【宮城】鈴 恩、植松照章

木喜美男【高知】大石 綾子
理 事【本部】水落 敏栄、市来健之助、江田 肇、山田大、國政隆昭、山 下裕子、須賀宏江【青森 県】齋藤文昭【秋田】阿 部勇【福島】安齋満【東 京都】宇田川勲雄【千葉 県】椿唯司【茨城】滝一 司【群馬】清水基衛【山 梨】久保川博芳【新潟 県】中山恭夫【石川】今 田勇雄【愛知】柴田義 継【三重】伊藤早苗【奈 良】中井靖教【京都府 坪倉大作【兵庫】柿原 啓志【鳥取】山崎義興 【広島】篠原彌之【香川 県】真鍋賢一【愛媛】関 谷勝嗣【福岡】後藤幹 生【大分】末光秀夫【熊 本】横田輝雄【鹿児島 県】植松照章

幹事長 山田 周二 (宮城県)
幹 事 稲 寿 (宮城県)
同 吉里 年和 (京都府)
同 岩田 康人 (鳥取県)
同 渥美 輝夫 (長崎県)

総務省・厚労省で
人事異動
総務省及び厚生労働省で人事異動が行われた。本会に関係のある方は次のとおり。
総務省
▼大臣官房審議官(恩給担当) 明渡 将氏 (7月1日付)
厚生労働省
▼大臣官房審議官(援護担当) 新宅 儀次郎氏 (6月26日付)

支部長交代
3県で
本多 則恵氏 (7月1日付)
徳島県遺族会 坂千代 克彦氏 (6月24日付)
岡山県遺族連盟 大月 健一氏 (6月25日付)
山口県遺族連盟 新宅 儀次郎氏 (6月26日付)

先の大戦後、極東国際軍事裁判(東京裁判)で判決を受けた東条英機元首相ら7人の遺骨の行方は昭和の謎とされていたが、この程、米軍将校が「太平洋の上空から私が「た」と記した公文書が見つかつた」という記事が新聞に載つた。▼文書は日本大学の高澤弘明専任講師が米国国立公文書館で入手した。遺骨処理の詳細が記されていたのは、7人が処刑された昭和23年12月23日付と、24年1月4日付の2種類の極秘文書(機密解除済み)。現場責任者のルーサー・フライアソン少佐が「戦争犯罪人の処刑と遺体の最終処分に関する詳細報告」として、経緯を記していた▼文書によると、少佐は米機「プリズン」で7人の死刑執行に立ちあつた後、7人の遺体を乗せたトラックは横浜市内の米軍第108基地登録小隊に到着。午前7時25分に小隊を出て30分後、同市の火葬場(現・久保山斎場)に到着。遺体は火葬後、別々の骨壺に納められた。7人の遺骨は、「横浜の東の太平洋上空を約30マイル(48km)地点まで連絡機で進み、私が広範囲にまた」と記している。「約30マイル地点」が太平洋のどこを指すかや、時間の記載はなかつた、とある▼この記事を遺族でもある故板垣正本会顧問が読んでみたら、何と語るか聞いてみた。



支部長会議で挨拶する水落敏栄本会会長
= 6月29日、参議院議員会館で

支部長会議を開催 山積の諸問題について協議

日本遺族会は6月29日、34支部の会長らが参議院議員会館101会議室に参集し、支部長会議を開催した。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から本会は、各種会議の開催を延期または中止の措置を取つてきたが、山積している遺族会の諸問題について協議するため、各支部長に東京に参集し会議を開くことで調整していた。

本遺族会活動方針・事業計画及び予算についての説明があり、戦没者遺族による慰霊友好親善事業実施地域の一部中止について報告があつた。また、各支部から分担金減額を要望する意見が多くあり、遺族会組織の高齢化、支部財政の現況等を考慮し、「今後の遺族会を考える特別委員会」の報告書に基づき、令和3年度より支部分担金を減額することが報告された。

政治連盟
書面による代議員会
同意決議で決算等を承認

日本遺族政治連盟は、6月29日、代議員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大が首都圏を中心に鮮明となり、感染者数は下げ止まりが続いている中、収束の見通しが立

たないことから、代議員の招集を取りやめ、書面による同意決議が諮られた。

謹慎 哀悼
吉川精二氏 日本遺族会評議員・徳島県遺族会副会長。
6月13日、逝去された。83歳。通夜、葬儀は近親者にて執り行われた。喪主は娘婿純二氏。

者遺族らが出席して毎年挙行されている。しかし、今年も新型コロナウイルスの影響で、規模の大幅な縮小により、菅義偉内閣総理大臣はじめ水落本会会長も欠席を余儀なくされたための参拝となつた。

事務局長会議を開催
事務局長協議会の役員改選

日本遺族会では6月30日、事務局長会議を開催した。会議では、事務局

長協議会幹事の逝去、支部事務局長の交代、第23回理事会の決定事項、事

務局長・事務局職員研修会の開催、令和3年度慰霊友好親善事業の実施地域の一部中止について報告された。

次いで、任期満了に伴う役員改選が行われた。事務局長協議会の新役員は次のとおり。(敬称略)

日本遺族政治連盟は、6月29日、代議員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大が首都圏を中心に鮮明となり、感染者数は下げ止まりが続いている中、収束の見通しが立

たないことから、代議員の招集を取りやめ、書面による同意決議が諮られた。

(M)

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)
お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

フオロアーアップ調査

硫黄島の地下壕調査を実施

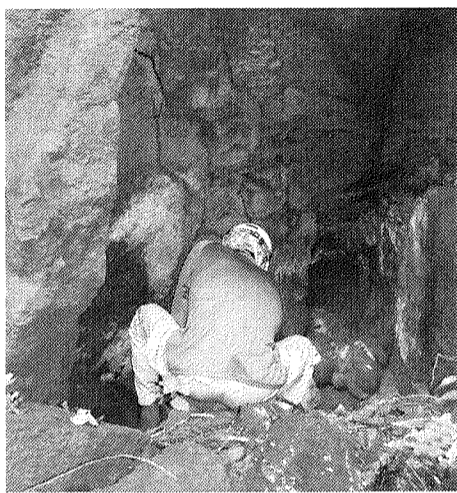
日本戦没者遺骨収集推進協会主催による硫黄島戦没者遺骨収集派遣第1回、第2回フオロアーアップ調査が相次いで実施された。令和3年度は16回の調査が予定されており、日本遺族会、硫黄島協会が参加協力し、新型コロナウイルス感染予防のため、派遣者全員がPCR検査を受け陰性であることを確認し、派遣している。

第1回フオロアーアップ調査は6月9日から22日までの14日間、第2回は6月21日から7月6日までの16日間実施され、



元山部落周辺の壕等を対象として、徒歩で踏査し確認した=6月15日、硫黄島で

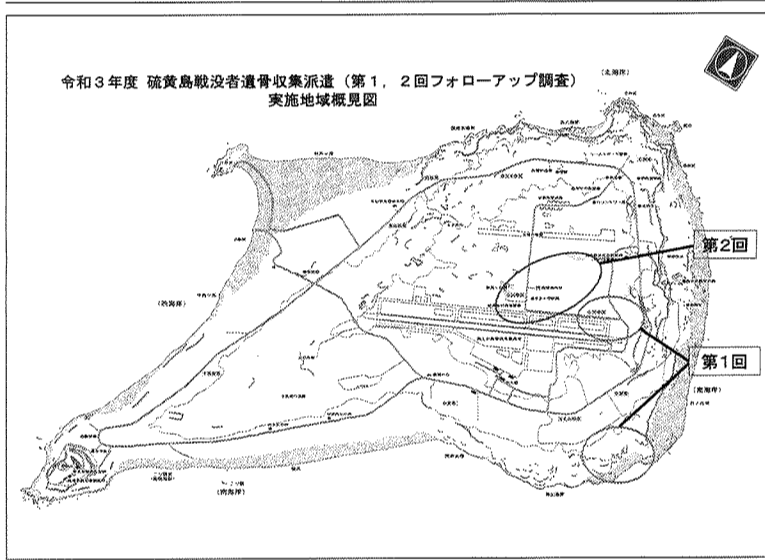
は、過去の面的調査の結果、さらに調査が必要と思われる地域を、グリッド(180m×180m)単位で、年間100箇所



地下壕に入り遺骨の調査をする団員=6月19日、硫黄島で

等が確認されたグリッド、過去の遺骨収集において崩落などの理由により作業中断で概了とされた地下壕で関係団体から再調査の要望があった地区を含むグリッドが主な調査対象となっている。

今回のフオロアーアップ調査では、第1回が神山海岸地区及び丸万部落周辺、第2回が元山部落周辺、第3回は元山部落周辺の壕等を対象として、派遣団員は、植物が生い茂っているジャングルをグリッド内の目的地まで



令和3年度 硫黄島戦没者遺骨収集派遣(第1、2回フオロアーアップ調査) 実施地域概観図

都道府県本部長

会議を終えて

日本遺族政治連盟
理事長 水落敏栄



去る6月29日、日本遺族政治連盟都道府県本部長会議(以下本部長会議)が開催され、来夏に迫った参議院議員選挙(以下参院選)について話し合われました。

次期参院選については、これまで日本遺族政治連盟(以下日遺政)において、全都道府県支部にアンケート等を実施

し、意見聴取が行われておりました。組織の高齢化が顕著な中で、選挙戦に臨む体制が取れないとの意見が散見され、容易に結論を導き出せない中、懸案解決のため、代表者を国会に送る必要があるとの意見では一致し、候補者の選定については理事長である私に一人任されており

有難いことに私の再出馬を期待するお声を多数いただいたおりましたが、私は日遺政の理事長であり、かつ来夏参院選に改選を迎える当事者であります。故に、今後の組織の方向性を何年にもわたる熟慮を要いたしました。振り返れば平成16年、全国のご遺族皆様へ支えられ、国政に送っていた

だきました。この間、自らに課せられた責任の重さ、国民の信任に心奪る自らであるか自問自答の毎日、当選を重ねる度、この思いは強くなる一方でした。そうした中で、来夏改選時には79歳となる年齢に鑑み、元氣なうちに次世代へバトンを渡すことが、私が果たすべき最大の使命と決意し、平成28年度目の当選を果たした直後から、後継となる候補者を探してまいりました。

日本遺族会は創設以来、二度と我々のような遺族を出さないうために、恒久平和な社会の構築に寄与することを理念とし、70年余の長きにわたる活動してまいりました。そして、戦没者の名誉回復と停止された恩給、公務扶助料等の復活等、戦没者遺族の処遇改善を求める遺族の声を国

政に届けるため、日遺の前身、日本遺族厚生連盟時代に、当時の会長であった長島銀蔵氏を参議院全国区で国政に送り、代表を国会に送り、逐年処遇改善が図られてまいりました。

かつて田中角栄元総理は、「あの戦争を知っている政治家がいる限り、日本は戦争をしない」とジャーナリスト田原総一朗氏に語ったそうです。しかし、戦後75年余りが経過した今日、国民の九割が戦後生まれとなり、戦中生まれの国会議員

は、片手で数えるほどとなり、戦争は風化の一途を辿っています。そして、そう遠くない未来に戦中生まれはなくなってしまうでしょう。

あの戦争で300万余の方々が犠牲となられ、その礎の上に、今日のわが国の平和と繁栄が築かれたことを決して忘れてはなりません。この歴史を忘れないことが平和を維持し、繁栄を築くことにつながります。最善な候補者を最後まで粘り強く探してまいりますので、どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。お詫びのご挨拶いたします。

田村厚労大臣が拝礼

千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

田村憲久厚生労働大臣は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で、7月5日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑を訪れ、先の大戦で戦没した軍人及び一般邦人で、氏名の判別ができていない遺骨が安置されている納骨堂にて拝礼し、献花した。毎年5月には、皇族や戦没者遺族が参列し、厚生労働省主催の「千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式」が開催されているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き今年も中止となったため、田村大臣が同省を代表して拝礼し、戦没者の冥福を祈った。



5月の厚生労働省主催の拝礼式中止に伴い、献花に向かう田村憲久厚労大臣=7月5日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

本会事務局で 人事異動

本会事務局では、7月1日付で人事異動を発令した。(敬称略)

▼事務局次長 吉田和弘
▼事務局主幹 小山孝夫

本会で6月29日以降、開催した各種会議は次の通り。

▼支部長会議 6月29日
①令和3年度本会事業計画、予算等②令和3年度支部分担金の見直しについて。

▼事務局長会議 6月30日
①事務局長協議会幹事の逝去②支部事務局長の交代③第23回理事会の決定事項④事務局局長事務局長協議会の役員改選について。

ミヤンマー小学校 修繕募金のお礼

本紙でもお願いしているミヤンマー小学校修繕募金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に、お礼申し上げます。

なお、大変恐縮ではございますが都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛同者名(敬称略)：カミヤマ

タカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等) 福富弘子、タナカケイコ、ナカジマツネコ、イノウエキヨシ(以上、6月1日から6月末日まで) 皆様からいただきました「ミヤンマー小学校修繕募金」は校舎等の修繕費用に充てさせていただきます。

誠にありがとうございました。

ミヤンマー(旧ビルマ) 小学校修繕募金のお礼

日本遺族会では、ミヤンマー(旧ビルマ)に建設寄贈した小学校の修繕費用について寄付金を募っております。

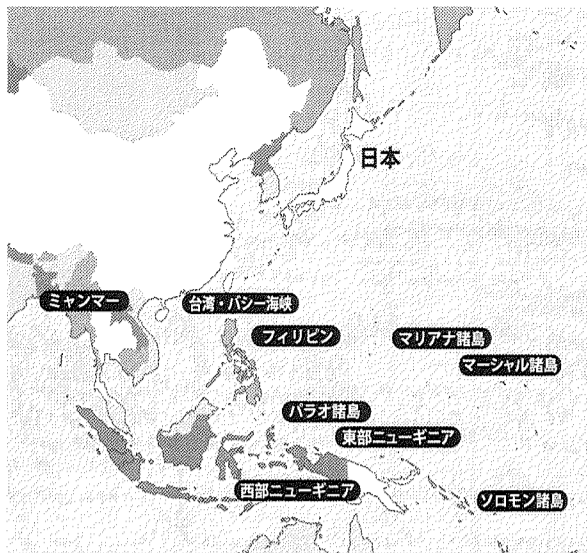
先の大戦で18万の将兵が散華されたミヤンマーの子供たちのためヤンゴン、アキャブ、ペゲーに3校の小学校を建設し、竣工贈呈をいたしました。建設から20数年が経過し、校舎等も老朽化が進んでいることから、この度修繕費用を募ることいたしました。

関係ご遺族をはじめ、広くご遺族の皆様からのご支援をお願いいたします。

銀行名：三井住友銀行 神田支店
口座番号：当座預金1015126
口座名：一般財団法人 日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区二丁目一丁目1番1号

好業友事 慰親 靈善 慰親 新型コロナウイルス感染症の影響で 一部地域の中止を決定

日本遺族会が実施する「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、令和3年度実施地域で一部地域の中止を決定した。新型コロナウイルス感染症の影響で、訪問国への入国及び日本帰国後の行動制限等も緩和されず、外務省渡航情報では渡航中止勧告が発出されている現状であり、未だ収束が見えず9地域が中止となった。



令和3年度実施地域で一部中止となった地域は以下の通り。
旧ソ連、旧満州、西部ニューギニア、ボルネオ、マレー半島、東部ニューギニア、ピスマーク諸島、中国、トラック諸島、ミャンマー、タイの9地域。
地域では引き続き実施の方向で調整している。募集要項は次の通り。
▼時期及び地域 実施計画概要参照。
なお、実施計画概要で広域地域の※印については、フィリピン地域一次はレイテ島東方沖、ソロン諸島地域はガダルカナル島北西沖、マリアナ諸島地域はグアム・サイパン島西方沖、フィリピン地域二次はルソン島西方沖、台湾・パシフィック地域はパシフィック海峽で洋上慰霊または機上遙拝を予定している。
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から各都道府県遺族会事務局

日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛助いただきますようお願い申し上げます。

郵便振替
001302-060400
みずほ銀行 九段支店
普通預金 00000300
※口座名は「一般財団法人日本遺族会」にて「ニコソウカイ」

実施計画概要

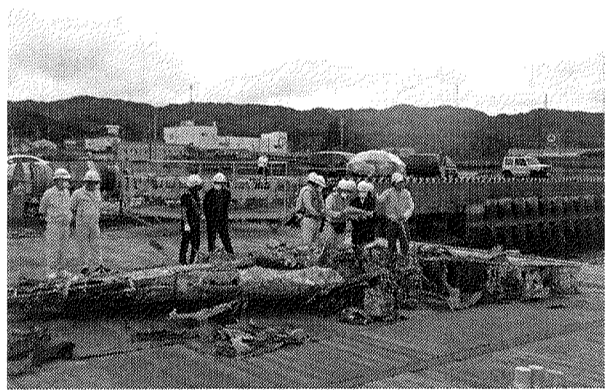
地域	時期	募集人員	申込締切	感染症危険情報
1 パラオ諸島	令和3年11月6日～11月12日	15人	8月30日	レベル2
2 ※フィリピン(1次)	令和3年12月14日～12月21日	120人	10月6日	レベル3
3 ※ソロン諸島	令和4年1月10日～1月17日	20人	11月10日	レベル2
4 ※マリアナ諸島	令和4年2月9日～2月15日	40人	12月2日	レベル3
5 マーシャル諸島	令和4年3月5日～3月13日	20人	11月4日	レベル2
6 ※フィリピン(2次)	令和4年3月11日～3月18日	120人	1月7日	レベル3
7 ※台湾・パシフィック	令和4年3月23日～3月29日	40人	1月12日	レベル2

地域	時期	募集人員	申込締切	感染症危険情報
1 東部ニューギニア	令和4年2月2日～2月9日	36人	11月25日	レベル2
2 西部ニューギニア	令和4年2月10日～2月19日	36人	12月3日	レベル3
3 ミャンマー	令和4年2月24日～3月4日	36人	12月20日	レベル3

※7月5日現在、外務省ホームページより。
感染症危険情報：レベル2 不要不急の渡航は止めてください。
：レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)

ご遺骨見つからず 種子島沖に沈む旧海軍機

本会が社員団体である日本戦没者遺骨収集推進協会(推進協)は、種子島喜志鹿崎沖(鹿児島県西之表市)に沈む旧海軍機の遺骨を捜索するため、6月14日から27日にかけて調査団を派遣した。島の北端から約300メートル沖合水深約18メートルに裏かえった状態で沈んでいた機体は、旧日本海軍の「九七式艦上攻撃機(九七艦攻)」とみられ、23日から24日に海底から引き揚げられた。調査団は機体と機体が沈んでいた周辺の砂も含めて入念に調べたが、遺骨は見つからなかった。搭乗員の身元特定につながる遺品も見つからなかったが、鉛筆の本とペンチのような工具が発見された。



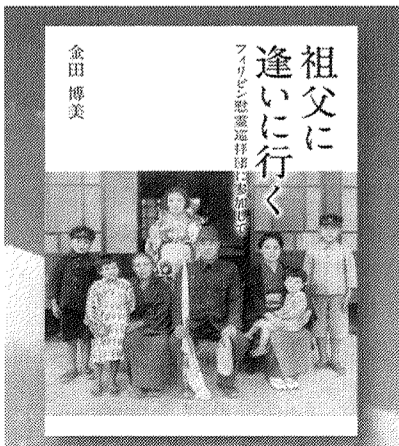
海底から台船に引き揚げられた機体の一部 = 6月26日、鹿児島県西之表市で

感染症では、安全が確認された上で実施の有無を各地域の締切日を持って決定するので、予めご了承願いたい。
なお、参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。
調査最終日の26日、推進協会長の尾辻秀久参議院議員(本会名誉顧問)は、「海中の収骨は困難な作業だが、あきらめず継続してやらなければいけないと感じた」「遺骨は見つからなかったが、しっかり調査できたことは今後につながる」と話した。
引き揚げられた機体は、戦時中に大分県宇佐市の航空隊で使われていた機体と同型であることから、宇佐市が取得し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝える文化財として保存されることとなった。

本会への 賛助金のお礼

本紙でもお願いしている本会への賛助金につきまして、ご賛助いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。
なお、大変恐縮ではございますが都道府県名については、送金方法により所在地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。
賛助者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)
佃邦四郎 大谷早枝子、坂本淑子、阿部保之、下村信子、コガトシロウ、イノウエキヨシ、マサダマサカズ(以上、6月1日から6月末日まで)
皆様からいただきました賛助金は、本会が実施する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

書籍「祖父に逢いに行く」：フィリピン慰霊巡拝団に参加して



1944年出征し、激戦地フィリピン・ルソン島で戦死した兵士がいた。75年後、孫が祖父の戦没地を巡る慰霊の旅に出る。「今、私が記録に残さないと祖父の全てが消えてしまう」ただその一心で・・・

ネットやAmazonで「祖父に逢いに行く」と検索または書店にて注文できます。
単行本 125頁 定価(税込)1,100円
出版社: ブイツーソリューション
ISBN978-4-434-28690-2

日本遺族通信への広告掲載を募集しています

日本遺族通信では、現在広告を掲載していただける広告主様を募集しております。日本遺族通信は発行部数約10万部で、全国の戦没者遺族を中心に訴求効果の期待出来る広告媒体です。是非ご利用ください。

- ①発行日：毎月1回 15日発行
 - ②体裁：タブロイド版の4頁
 - ③発行部数：約10万部
 - ④主な購読者：全国の戦没者遺族
- 料金 1回 ・記事下2段 (24.0cm×7.2cm) 86,400円+消費税
・記事下2段2/1 (11.9cm×7.2cm) 52,200円+消費税
※料金については応相談いたします。

問合せ先 日本遺族会事務局 事業担当まで
☎03-3261-5521 FAX03-3261-9191

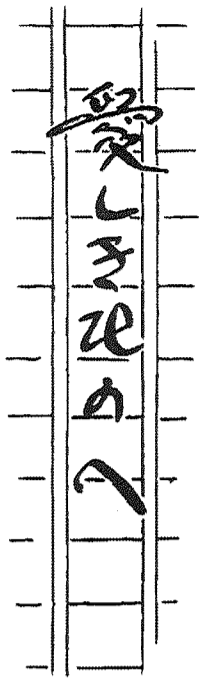
沖縄全戦没者追悼式

大幅な縮小で開催された

76年前の沖縄戦で、住民を巻き込んだ激しい地上戦で20万人を超える人が犠牲となった。沖縄県は、旧日本軍の組織的な戦闘が終わったとされる6月23日を「慰霊の日」としており、糸満市摩文仁の平和祈念公園で毎年沖縄県主催の全戦没者追悼式が行われている。今年も昨年同様新型コロナウイルスの影響により大幅な縮小で開催された。

沖縄県で「慰霊の日」の千人規模だった参列者は6月23日、県主催の全戦没者追悼式が開催された。今年も新型コロナウイルスの影響で県外からの来賓や一般の県民の参列は見送られ、これまで五

千人規模だった参列者は、を述べ、玉城沖縄県知事が「平和宣言」を読み上げ、「戦争の体験や教訓を次世代に伝えることが、私たちの使命だ」と訴えた。菅義偉内閣総理大臣はビデオメッセージで基



文子殿

陸軍上等兵 中田 好雄

昭和十七年四月六日
フィリピン・ルソン島にて戦死
大阪府大阪市南区西櫓町出身 三十四歳

文子殿、見送りの際の貴方の立派な態度を好雄は嬉しく思っています。そして戦友達にも自慢して居るのです。

何卒あの時の気高い気持ちを忘れず、母上につかへ剛雄・喜子の世話を

見て、家族の和合専一にお努め下さるやう希望致します。又、好雄は私心を捨てて専心御奉公の誠を盡すべき覚悟で居りますから

万一生還の暁には、文子より世情の動きを聞くことを最大の楽しみにして居ります。

【令和三年七月靖国神社頭掲示】
(原文のまま)
愛しき世へ

追悼のことば

沖縄県遺族連合会会長 宮城 篤正

本日、ここに沖縄県主催による「令和3年沖縄全戦没者追悼式」が執り行われるにあたり、戦没者遺族を代表して謹んで哀悼の誠を捧げ、諸霊のご冥福を心からお祈り申し上げます。今年もまた、私達にとって忘れることのできない6月23日「慰霊の日」がめぐって参りました。今年、あの凄惨な沖縄戦から76年忌まわしい地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび胸が張り裂ける思いが致します。

戦没者諸霊は、あの激しかった沖縄戦及び外地において、祖国の安泰を願い、家族を案じつつ遂に尊い生命を祖国のために捧げられたのであります。今、霊前に立ち、在りし日を偲び、諸霊に対する追慕の情は、更に深く、新たな痛恨の念が胸に迫ってくることを禁じ得ません。顧みれば、私達戦没者遺族が歩んだ道程は、長く苦しい歲月でありました。しかし、私達は、互いに助けあい、励ましあいながら懸命に生きてまいりました。

終戦から76年未だにご遺骨が発見され、米軍の不発弾も発見され、沖縄の戦後は、未だに終わっていないのだと実感しております。

皆様方が最後まで案じられた我が国は、焦土の中から国民が一体となって立ち上がり、幾多の困難を乗り越えて、今日の平和と繁栄を築きあげました。

この平和と繁栄は、皆様の尊い礎の上に築かれたものであることを私達日本国民は、決して忘れてはなりません。

私達戦没者遺族は、英霊顕彰と平和運動を推進するため県内各地、全国から遺族の代表が参集し、南部の激戦地をみ霊のご冥福と世界恒久平和を祈願し、毎年平和祈願慰霊行進を実施していますが今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により止む無く中止となり、又、追悼式も遺族会からは私一人の出席となり、断腸の思いであります。

私達は、今後二度と「戦没者遺族を出さない」という強い信念をもってこれからも活動を続けてまいります。

終わりに鑑み、戦没者の皆様、安らかに眠りくださいまして、私達の上に限りなくご加護を賜りますよう祈念申し上げて、追悼のことばと致します。

秋田県で日章旗返還

OBONソサエティ

本会が厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者等の遺留品返還」推進しているOBONソ

サエティから本会に照会があった日章旗が秋田県に返還された。日章旗は、米国防衛省のテネシー州のテネシー大学にあるマクラング自然史文化博物館で保管されてい

たもので、秋田県遺族連合会が調査した結果、昭和20年にフィリピン島のルソン島で戦死した鹿角市出身の成田勇四郎さんのものと判明した。

この日章旗は、戦時中にルソン島のバタンガス州で米国防軍第6軍のワイルー・C・スミス大尉が入手し、1945年5

月2日にテネシー大学へ寄贈された。今回、OBONソサエティの取り組みを知った大学側が遺族への返還を希望し、76年の歳月を経て遺族の元へ届けられた。

6月10日、鹿角市十和田市民センターで返還式が行われ、鹿角市遺族連合会の大里亜樹男会長

九段短歌

作品を
お寄せ
ください

靖国の父の身元に逝きし母戦後の日々をいかに語るらん
亡き父に抱かれて居る心地して春陽を吸いし墓石にも
たるる

梅雨に入り気候不順の折から、皆様お健やかに過ごしてでしょうか。
七月は靖国神社の「みたままつり」があり、境内には大小のご献灯が掲げられ多くの参拝者で賑わいます。

パール判事の顕彰碑は遊就館の並びにあり、戦後六十周年の二〇〇五年六月に建立されました。
インド独立五十周年の一九九七年には京都霊山護国神社に建立されているそうです。国際法の専門家として東京裁判を批判し、被告全員の無罪を主張されたことは日本国民として忘れることはできません。(選挙者)



遺留品の日章旗が遺族に返還された
=6月10日鹿角市十和田市民センターで

本会事業参加者の皆様へ
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報は「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。